

資生堂クリエイティブの作品「在る美」が Red Dot Design Award 2024 でグランプリを受賞

世界三大デザイン賞の一つである Red Dot Design Award 2024 にて、資生堂クリエイティブ株式会社が制作したウィンドウディスプレイ作品、「在る美」がグランプリを受賞しました。日本の伝統的な職人技と現代的なデザインの融合、工芸品と個人の内面の美しさを象徴していること、正確な幾何学的フォルムと高度なハンドメイド技術がもたらす特別でユニークな体験などが高く評価されての受賞です。

「在る美」は、第 103 回 ニューヨーク ADC 賞ブロンズ、日本空間デザイン賞 2024 グランプリ大賞、FRAME Awards 2024 Window Display of the Year も受賞しています。

Red Dot Design Award とは

Red Dot Design Award は 1955 年にドイツで設立された国際デザイン賞で、ドイツの iF Design Award、アメリカの International Design Excellence Awards (IDEA) と並び、世界三大デザイン賞と呼ばれています。「在る美」は全部門の中で 6 作品のみが選ばれる最高賞「グランプリ」を受賞しました。

なお、グランプリの受賞は、1916 年に資生堂クリエイティブ株式会社の前身である「資生堂意匠部」が創設されて以来、初の快挙です。



【在る美】

【クレジット】

Creative Director: 信藤 洋二
Art Director / Designer: 金内 幸裕
共創パートナー: 博展

作品解説

東京銀座 8 丁目の東京銀座資生堂ビルのウィンドウディスプレイです。伝統工芸が持つ日本古来の美意識をテーマとし、京都の職人と共にツリーとリースを制作しました。モチーフとしたのは「和傘」。特に「竹骨と飾り糸」という要素に着目しています。本来傘の内側にあり実際には使用者しか見ることのできない「竹骨と飾り糸」をあえて露出させたデザインは、そこに在る美の探求、そして新たな美の定義に取り組んできた資生堂の企業姿勢を表現しています。

資生堂クリエイティブ株式会社 アートディレクター/デザイナー金内幸裕による受賞コメント



世界的なデザイン賞である Red Dot Design Award でグランプリを頂けたことは、望外の喜びです。今回のウィンドウディスプレイ「在る美」は和傘という伝統工芸に潜む、純粋で根源的な美を表現したいという想いでデザインを行いました。この取り組みを評価頂いた審査員の皆さま、関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。これを励みに、これからも美の本質に触れるような仕事を手掛けていきたいと思えます。

資生堂クリエイティブ株式会社

「BEAUTIFUL IMPACT の創出を通じて新しい美の体験を提案し、ビジネスの価値を最大化する」を目指す会社です。1916 年、資生堂初代社長福原信三により「資生堂意匠部」として設立されて以来、広告宣伝や商品、スペースのデザインを通して常に最新の美のありかたを模索してきました。2022 年 1 月に、よりクリエイティブに特化する「資生堂クリエイティブ株式会社」となってからも、変わらぬ精神を受け継ぎ、次なる挑戦を続けています(本社:東京都港区、代表取締役社長:杉友 ジョージ 社)。

「在る美」プロジェクト紹介ページ(資生堂クリエイティブ ウェブサイト内)

<https://www.shiseidocreative.com/arubi>

資生堂クリエイティブ株式会社ウェブサイト

<https://www.shiseidocreative.com/>